

須賀川市立義務教育学校「稲田学園」令和3年度学園だより

とう 雲 稲 雲

第4号

令和3年5月25日発行

発行者：校長 小貫 崇明



○運動会 輝く子らの 笑顔かな～中学生も参加しました!～

5月15日(土)に実施しました稲田学園運動会は、大成功のうちに幕を閉じました。子ども達は、コロナ禍で様々な制限がある中、この日のために短い期間で練習を重ねてきました。今年度の運動会のスローガン『心を一つに 声を合わせ 光かがやけ 稲田っ子』の下、それぞれの種目への参加や仲間への応援、運動会の準備から運営、後片付けに至るまで、



「心を一つに」した前向きな姿が多く見られました。(写真上：中心となって活躍した6年生記念写真)

紅白応援団が中心となった応援合戦では、中体連壮行会に向けての中学生の応援団練習を見ていることも影響してか、団長のエールをはじめ気合いが入った堂々としたものになりました。また、1種目だけの参加でしたが、7～9年生も玉入れ競技に楽しく参加し、さらに後輩たちのリレーを温かく応援する姿も見ることができました。

運動会の実施に際しまして、PTA・体文役員、学年委員長・副委員長の皆様には早朝よりご協力いただきありがとうございました。また、子ども達に温かな声援を送って下さった保護者の皆様や地域の皆様、コロナ対応へのご協力もありがとうございました。



(写真上：様々な競技、鼓笛等で活躍する子どもたち。輝く子どもたちの笑顔は、まさに「地域の宝」です。)

【新型コロナウイルス対策に関する保護者の皆様へのお願い】

日頃からコロナ対策を徹底いただきましてありがとうございます。お子様本人の健康状況はもちろんですが、同居するご家族の発熱やご家族の通う幼稚園や高校、職場等で感染者がいたり PCR 検査を受けたりするなどの状況が生じた場合は、本人の登校や自宅待機等についてできるだけ早めにご相談ください。よろしくお願いいたします。(学校Tel0248-62-2804, または 2806)

○中体連岩瀬支部総合大会は無観客で実施します

6月1日(火)・2日(水)実施予定の中体連岩瀬支部総合大会における新型コロナウイルス感染症への対応につきましては過日文書を配付いたしました。大切なポイントは下記のようにしておりますので、ご家庭でも再度ご確認ください。また、保護者の皆様におかれましては、無観客での大会実施につきまして重ねてご理解とご協力をお願いします。



【新型コロナウイルス感染症対応に関する指導事項】

- ① 選手各自が新しい生活様式に即した3密の回避をしっかりとこなう。
- ② 必要、状況に応じたマスクの着用、手洗い・手指の消毒・洗顔をする。
- ③ 健康管理を徹底する。(大会2週間前にさかのぼる健康調査および当日の健康チェックシートの記入と提出)
- ④ 競技中のハイタッチなどの身体が接触するような動作をとらないようにする。
- ⑤ 各競技実施要項に基づき、大会役員・顧問教師の指示に従い行動する。

○衣替えの季節～気候にあった服装で健康管理～



7～9年生は6月1日(火)から制服の衣替えが完全実施となります。5月31日(月)までを準備期間とし、この期間は気温に合わせて夏服、冬服を選ぶことができます。衣替えに合わせて、運動着も基本的に半袖・ハーフパンツを着用するようになります。ネーム等の確認も含め、ご家庭で準備をよろしくお願いいたします。

また、1～6年生につきましても、気温の高い日、雨の日など、梅雨や夏の気候にあった服装についてお子様と確認し、健康管理ができるようご配慮をお願いします。

★言葉と生きる(4)「ぐぜり鳴き」って知ってますか？

稲田学園に赴任して2年目になりますが、昨年も今年も春先に正門東側の林の中から聞こえてくるウグイスの鳴き声が気になってしかたありません。というのもその鳴き声が「へた」なんです。「ホ～ホケキョ」ではなく、「ホ～ホケキョキョ」だったり「ホ～ウキョキョ」だったり、惜しいのですがうまく鳴けないのです。ただ、毎日聞いていると、だんだん上達してくるのがわかります。職業柄か若い鳥が朝練して鳴き方を訓練しているように思え、毎日応援していたところ、最近やっと正調「ホ～ホケキョ」になってきました。「やったぜウグイス君！」と勝手に心の中で拍手を送りました。調べてみると、鳴き声の上達の速さには人間と同じように個体差があり、若鳥は幼い頃に聞いた他のウグイスの鳴き声を覚えていて、次の年の春にそれを思い出しながら練習してうまくなっていくんだとか。このうまくなっていく過程を「ぐぜり鳴き」と呼ぶのだそうです。このことを知って、鳥だって人間だって先輩や大人が示す模範を真似して育つのだなあと感じるとともに、「学ぶ」の語源は「まねる」という話を思い出したのです。

